

す・とうぶだより

2020-08月号

奈良えごま油販売中!

6月の下旬から、雨、雨、雨! 雨だとできる農作業が限られてしまうのが、本当につらいですね。今まで、これほど天気を気にしたことはないかもしれません。

反面、農作業以外の仕事がいりいろはかどるとも言えます。

最近はいえごま油のネット販売にも力を入れておりまして、

徐々に売れ行きもよくなってきました。お中元の季節ですしね。

そのため、搾油、箱詰め、梱包、包装、配達等に追われています。

毎日、注文がないかメールボックスを覗くのがとても楽しみです。

また、umekiki木曜マルシェにも参加してきます。大阪梅田のグランフロントで、毎週木曜日催されている「農家と直接つながる」

マルシェです。大阪に露出する機会はありません。

会はありません。奈良えごま油を知ってもらおう意味でも

がんばってきます。(加藤)



お中元にも
ぴったりな
奈良えごま油



風力で穀物を選別する
唐箕(とうみ)

大麦の収穫が終わって天日干しをし、脱穀作業を始めました。

脱穀は手袋で揉んで取っていましたが、二条大麦は全然穂から

実が取れません。そこで、家にあるミキサーを

使ってみました。これが功を奏し見事に外すことに成功しました。

次は選別です。これは加藤隊員の研修先である東さんのお宅の唐箕をお借り

してやりました。唐箕の仕組みはすごいですね。

ゴミや穂先を風で飛ばし、実が重いものと軽いものに分けられるという優れもの。

昔の人の叡智が詰まった道具を使うことが出来て、作業がと

ても捗りました。(青野)

はじめての唐箕!

起業準備セミナーへ参加!

早いもので協力隊としての任期も残り半年を切りました。終了後の定住・起業への準備を始めました。

新型コロナウイルスの影響で、予定していた研修やセミナーが

ことごとく中止や延期になり、少し焦っていたところ、ようやく

少しずつではあるものの、再開の動きが出てきています。

7月から、月に数回のペースで起業に向けてのスケジュール作り、

事業計画書の作成、資金調達等について、大阪産業創造館へ学習

に行っています。

コロナウイルスによって、社会の在り方や人々の価値観が変わっ

ていく中においても、地域の皆さんと一緒に、奈良市東部地域が

持続可能な地域となることに貢献できるような事業展開を考

えています。(松村)



「大阪産業創造館」
個性的な外観の
建物です。